

1 学校教育目標

「自ら学ぶ子、学び合う子」
～肯定的なかかわりの中で～

2 学校教育推進の視点

○「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成 ○保幼小連携教育・小中一貫教育の推進
○特色ある学校づくり ○家庭、地域に開かれた安全な学校づくり

3 総合的な自己評価

キャリア教育との繋がりを大切にしたい研究授業を計画通り実施し、成果を確実に次の授業につなぐ取組を進めることができた。児童に寄り添った教育を進めているが、職員の若年化に伴い、継続した児童理解資質向上が必要である。

4 自己評価結果 (A:達成している B:概ね達成している C:あまり達成していない D:達成していない)

領域	評価の観点	評価項目	達成状況	課題を踏まえた改善の方策	自己評価の妥当性
教育課程	・ 確かな学力を身に付ける学習指導	・ キャリア教育の視点を取り入れ、相手を意識して伝える力、相手を肯定的に受け入れた上で聴く力、反応を返す力を意識した授業の展開・工夫	A	○共感的に聴き、想いを返せる効果的な場面の設定 ○キャリア教育における基礎的汎用的能力を意識した授業実践 ○教科担任、少人数担当の報告・連絡・相談の充実	1 地域と連携した特色ある教育活動 ・豊岡商工会等地域の力を借りた活動は継続していきたい。幅広い児童の参加を望む。 ・キャリア教育で、表彰を受けたことはとてもいい。地元日高高校との連携は継続して取組んでいくことを期待している。
	・ 道徳教育	・ 心豊かな児童育成を目指した授業、兵庫版道徳教育副読本の活用 ・ 教科化となった道徳の評価方法の確立	B	○道徳授業の公開 評価方法の更なる組織的な共通理解 ○ALT との連携 移行期における学習内容の充実	
	・ 英語遊び・外国語活動・英語科	・ 指導内容・事例集の共有と指導の充実	B	○地域に学ぶ体験活動の充実	
	・ 総合的な学習の時間	・ 自らの課題追求、体験的活動の充実、コミュニケーション力	B	○学級会での話し合い活動の充実	
	・ 特別活動	・ わくわく活動、校外児童会、話し合い活動の充実	B	○教科学習での学びの応用・活用	
学校運営	・ 開かれた学校づくり	・ 情報発信、オープンスクール、授業参観、懇談会	B	○HP作成分担の工夫と充実	2 確かな学力の定着と個性や能力を伸ばす教育の推進 ・保護者アンケートや全国学力学習状況調査の結果から、概ね今の取組を進めていくことを望む。 ・本校はかなりの割合の児童が放課後児童クラブに通っている。そこでの学習等過ごし方についても学校と連携して充実させる必要があると感じる。(本年度より学校・児童クラブ連絡会を毎月実施している。)
	・ 勤務時間の適正化	・ 定時退勤日、ICT化による業務効率化、ポスター啓発	C	○授業参観・懇談会の工夫・行事のあり方の工夫	
	・ 引継ぎ連携システムの強化	・ 東中学校区小中一貫の取組、保幼小連携の取組	B	○意識改革 メールの有効活用 校務支援システムの有効活用	
	・ 生徒指導 (いじめや不登校の問題を含む)	・ 「心の教育」、アセスの活用、わくわくひとり立ち、自立する子 ・ 児童理解・未然防止・早期発見・早期対応 対応マニュアル研修	B	○育てたい児童・生徒像をふまえた小中一貫、保幼小連携強化 ○アセス調査資料の有効活用による児童理解の充実	
	・ 職員研修の推進	・ 校内研修会、対外研修の伝達・充実、メンタルヘルス研修	A	○同僚性をいかした研修の充実 オープンクラスルーム実施	
	・ 危機管理体制の整備	・ 校内や遊具の安全点検、通学路・危険箇所点検、整備	B	○児童の登下校指導の強化	
課題教育	・ ふるさと教育	・ 地域人材・地域教材の活用・市のカリキュラムの実施	B	○地域人材に学ぶ機会の創出・地域との連携	3 読書活動の充実 ・PTA や地域の方からの図書寄贈があり、とても恵まれている。家庭での読書の取組を期待する。 4 その他 ・道徳、プログラミング教育等、今後遅れをとらないように取組んでいってほしい。
	・ コミュニケーション教育	・ 授業実践と振り返り、先進校視察	B	○コミュニケーション教育の校内研修の充実	
	・ キャリア教育	・ 年間指導計画の更新、実践内容の充実、キャリアノートの活用	B	○発達段階にあわせたキャリア教育の実践 (日高高校との交流等)	
	・ 体験活動	・ 自然学校、社会見学、地域の教育資源や人材の活用	B	○地域と連携した防災訓練	
	・ 人権教育	・ 「ほほえみ」の活用、心の広場、学級経営、ポスター標語応募	B	○栽培活動・環境教育の充実	
	・ 特別支援教育	・ 教育相談活動、特別支援教育研修	B	○読書記録の有効な活用、朝読書の時間のさらなる活性化	
	・ 環境教育	・ 環境体験事業、もくもく掃除の徹底	B	○読書ボランティアの活用の充実	
	・ 安全教育・防災教育	・ 防災訓練、引渡し訓練、交通安全指導、メモリアルデー	B	○発達段階にあわせた弁当の日の実施	
	・ 健康教育・食育・体力づくり・運動遊び	・ 給食指導、新体力テストの分析活用、運動遊び、省TV	B	○睡眠を確保するための生活点検 (わくわくひとりだち)	
	・ 読書活動	・ チャレンジ50、ボランティアの活用、教師読聞せ、読書タイム	B	○iPadの有効活用 プログラミング教育に関する研修	
	・ 食育・眼育	・ 食育の日 (囃むDay)、弁当の日、睡眠時間確保	B		
	・ 情報教育	・ ICT機器を活用した授業・情報モラル研修・SNS利用注意喚起	B		

※上記の評価の観点は市統一とするが、各校で特色 ※評価項目は各校の実態に応じて設定するが、ある活動・重点項目を追加してもよい。 外部評価者が理解しやすい具体的内容の記述に努める。